

世界を席卷したポーランド演劇の創造者 タデウシュ・カントルの舞台公演映像と招聘講演

2003年12月1日(月) 17:00 劇場：シアターX (カイ) 入場料：1000円

①カントル幻の舞台『ヴィエロポーレ・ヴィエロポーレ』の上映

(日本語字幕付き/約90分)

②講演

レシエック・コランキェヴィッチ (ワルシャワ大学教授・批評家)

レシエック・モンジク (演出家)

司会/関口時正 (東京外国語大学教授)

通訳/石川ダラジナ、久山宏一、津田晃岐

共催：ポーランド大使館、東京外国語大学ポーランド語学科、シアターX

お問い合わせ：tel. 03-5794-7020 (ポーランド大使館)、tel. 03-5624-1181 (シアターX)



シアターX 2003年12月のプレヒト演劇祭協賛会



タデウシュ・カントル Tadeusz Kantor 1915-1990

衝撃的なスペクタクル『死の教室』(1975)を始めとする一連の舞台で、20世紀世界演劇に大きな影響を与えたポーランドの演出家・造形作家。『ヴィエロポーレ・ヴィエロポーレ』はその代表作の一つだが、日本では上演されていない。

講演『死者の日とカントル』

レシエック・コランキェヴィッチ Leszek Kolankiewicz

1954年生まれ

1973-1982 イェジー・グロトフスキ演劇実験室で働く

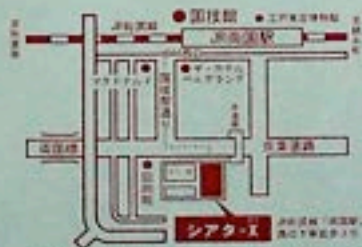
現在ワルシャワ大学教授

著書：

1989『聖アルトー』(文部大臣賞、文学基金賞)

2002『《父祖の祭》——死者の日の演劇』(文部大臣賞)

2003『小さくて大きな乗り物』(国際演劇協会ポーランド支部賞)



〒130-0026 東京都豊田区南1-10-14
<http://www.theaterx.jp>

講演『カントルのインスピレーション』——演劇における〈空間〉〈マネキン〉——

レシエック・モンジク Leszek Mądzik

1945年生まれ

1969年

ルブリン・カトリック大学に劇場「造形舞台」を設立。以来、同劇場で『この人を見よ』『降誕』『晩餐』『織維』『イカロス』『烙印』『植物標本』『湿気』『放浪』『岸辺』『足かせ』『門』『息吹』『亀裂』『喪服』『埋葬布』のオリジナル16作品を上演。

ポーランド、ポルトガル、フランス、ドイツの劇場で多数の舞台デザインを手がける。世界各地の演劇祭に参加し、受賞歴多数。美術学校で教鞭をとる傍ら、飲みを中心ワークショップを開催

